

第3・4学年の特色

●毛筆書写の基礎・基本を確実に身につけ、さらに硬筆に生かすことができます。

毛筆の特性を知り、使い方に慣れる

毛筆書写の基礎として、毛筆の特性についての理解をもとに、適切な姿勢や執筆のしかたを学べるようにしました。特に、手や腕の動きを体得し、筆圧を意識して書けるようにすることを重視しました。

筆を持ってみよう

三年生からは、毛筆の学習が始まります。筆を持って、さあ学びましょう。

① 筆をほくしてみよう

筆の先の形はこうになりました。

② 筆でなでてみよう

筆は毛をよそよそと立てて持て、持ちかたをよそよそにたたくかまです。

③ 筆に水をつけてみよう

筆の先の形はこうになりました。

新しい筆はのりかたがあります。先の字から、穂先はよくほくしてきましょう。

どんな感じになりますか。

筆の持ち方

一本がけ

二本がけ

ちぎぐ 用具としせいでい

すみの持ち方とやり方

黒紙のかたづけ方

学びのポイントを明確に

学びの要点を、覚えやすい簡潔な言葉にして示していきます。この言葉を体得することにより、学んだことを、さまざまな書字の場面で活用することができるようになります。

点画の書き方 2 「たて画」

ほ先はいつも左はし

「たて画」

① は先の向きに気を付けて、筆をさかして下ろす。止める。

② は先の通り道に、気をつけながら、力をゆるめながら、筆を運ぶ。

③ 筆をしっかりと止め、左上にゆっくり上げる。

「たし」

筆を下ろしたあと、右下に短く筆を運ぶ。

えん筆で書こう

は先の通り道（たし）に、気をつけて、「たて画」を書きました。

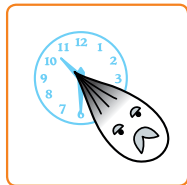
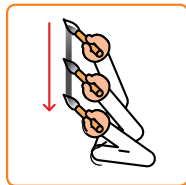
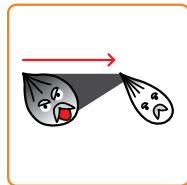
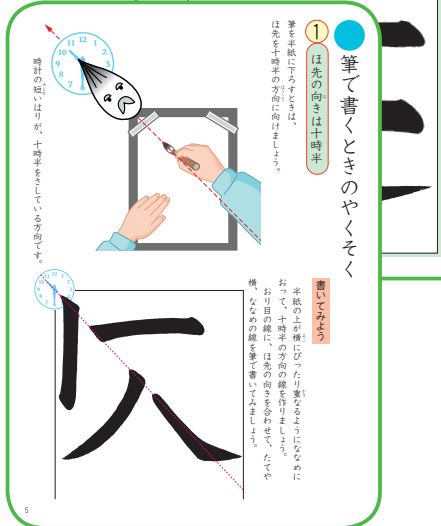
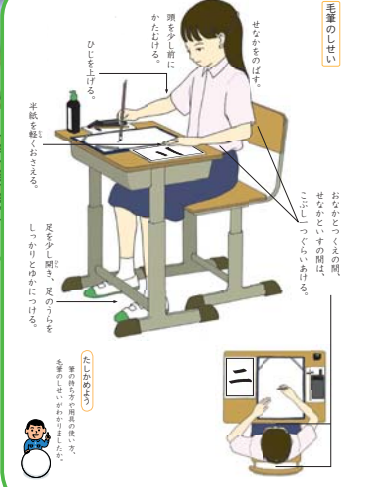
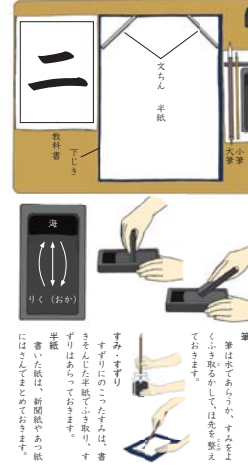
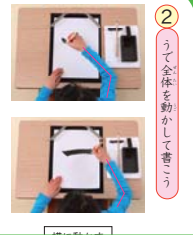
上 下

土

川

10





● アイコンの活用

基礎的・基本的なことから端的に表現したアイコンを作成し、さまざまな学習場面で確認できるようにしました。

